

スマートフォンと携帯電話の 安全・安心な使い方

スマホとケータイ比べてみると

スマホってどんなもの？

スマホはパソコンに通話やメール機能が付いたものでWEB閲覧、カメラ・動画撮影をはじめ、GPS(地図・位置情報表示)、Wi-Fi(無線LAN)接続等もできる多機能端末です。ケータイとの大きな違いは、アプリケーションソフト(アプリ)をインストールして、ゲーム、音楽、映画など自分好みの端末にカスタマイズできる点です。パソコン同様にセキュリティソフトをインストールする必要があります。



ケータイってどんなもの？

ケータイは、通話やメール機能をメインにインターネット接続やゲーム、音楽のダウンロード、電子マネー、鉄道・バスの切符などに利用できます。日本独自に発達したため、「ガラケー(ガラパゴス携帯)」とも呼ばれています。

安全性は携帯電話会社によって守られています。



契約する時のチェックポイント

端末の購入方法

端末の購入方法には、一括払いと分割払いがあります。分割払いでは、通信契約を2年間継続することを条件に、携帯電話会社が毎月の基本料や利用料金から端末分割金相当額を割引するサービスを提供しています。

分割支払い中に解約すると割引サービスの適用が終わり、残額が一括請求されます。



料金プラン

スマホもケータイも、基本料+パケット通信料(インターネット接続料)+通話料+オプション料の合計金額となります。

通話料は通話時間に応じて料金が発生します。パケット料はデータ量に応じて課金されるので、大量なデータをやり取りするスマホでは、思わぬ高額な請求になる場合があります。注意が必要です。パケット定額制プランの利用をお勧めします。

解約する時の 注意点

スマホもケータイも多くは、2年ごとの自動更新制をとっています。2年後の更新月以外で解約すると解約料が発生します。



利用料金・解約料を滞納すると強制解除となり携帯電話会社間で「不払い者の情報」が交換され、新規契約の審査が通らなくなるので注意が必要です。スマホ・ケータイの問題にとどまらず、将来的にクレジットカードを作る際に影響したり、住宅ローンの審査が通らなくなる可能性もあります。

安全に楽しく利用するために

アプリのインストールで 個人情報が取られるの？

スマホでは、アプリをダウンロードする際に利用者情報へのアクセスを許可すると、アプリの作成者に利用者情報が伝わります。アプリの内容に無関係な電話帳や位置情報、端末情報までアクセスするアプリは注意が必要です。OSがアンドロイドのスマホに相談が多く寄せられています。

アプリは、信頼できる正規のストアや携帯電話会社のサイトから入手しましょう。

子どもに持たせて大丈夫？

初めてスマホやケータイを子どもに持たせる時には、家庭内で話し合っテルールを決めましょう。

①フィルタリングサービスを利用する

18歳以下の子どもがスマホやケータイを利用するときには、有害情報や犯罪から子どもを守るため、原則、フィルタリングサービスを利用することになっています。子どもたちは「見たいサイトやアプリが利用できない」としてフィルタリングの解除を求めますが、制限するサイトやカテゴリ、アプリを個別に設定することもできます。

②ルールを決める

例えば「夜〇時以降は使わない」、「居間で使う」、「料金は〇〇円以内」、「迷惑メールやチェーンメールは無視する」、「あやしいと思ったサイトには近づかない」、「約束を守れなかった場合は…」など、はじめにルールを決めておくと子どもをネット犯罪やネット依存から守ることにつながります。

スマホやケータイは私たちの生活を便利にする道具です。機能の特徴を十分理解して、利用目的にあった商品を選択しましょう。

SNSってなあに？ 情報発信に気をつけて！

SNS (social networking service) とは、インターネット上で利用者同士が交流できる会員制サービスです。FacebookやTwitter、mixi、ゲームのGREEやモバゲーなどが代表的です。可愛いスタンプを使ったコミュニケーションが若者に人気のLINEは未成年者にも浸透し、パケット定額制に入っていれば使い放題の無料通話も魅力です。SNSは多くの場合、情報の公開・非公開の選択が可能です。選択を誤ると思わぬ情報流出につながります。



ネット上に流れた情報は、完全に消すことはできません。安易に個人情報を投稿することはやめましょう。

写真を投稿するときは写真の位置情報(GPS)の設定にも注意が必要です。設定がONになっていると位置情報が公開され、思わぬ個人情報の流失になりかねません。

利用したい各SNSの設定方法や利用規約などを、登録前に十分理解してから利用してください。

トラブルに気をつけて！

◆「無料と思って興味本位でアダルトサイトへ接続したら高額請求された」というワンクリック詐欺が多発しています。⇒有料サイトと分かりにくく請求に納得がいかない場合は、支払わずに様子を見ましょう。サイトに連絡すると個人情報を教えることになるので連絡するのはやめましょう。

◆「無料と思って遊んでいたら課金されていた」、「子どもが勝手にクレジットカードを利用し、アイテムを買っていたことに気づかなかった」というオンラインゲームのトラブルも後を絶ちません。

⇒大人もゲームや課金の仕組みを知って、通信料やアイテム購入額の上限、接続先の制限などを設定しましょう。

困ったことがあったら消費生活センターに相談してください。